

国際ロータリー第2560地区 2010～2011年度



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



地区大会開催：上越市

快晴に恵まれた11月20・21日の両日、上越市で国際ロータリー第2560地区大会を開催。RI会長代理・小沢一彦氏を招き、1100人余の会員が集い「友絆」で交流を深めた。

国際ロータリー第2560地区 2010～2011年度「ガバナー月信」2010年12月1日発行

CONTENTS

地区大会の御礼	1
ガバナーメッセージ	3
パストガバナーメッセージ	7
GSE派遣メンバー紹介	8
ガバナー公式訪問	9
新会員の紹介	10
出席報告	11

2010-2011年度
国際ロータリーのテーマ



ガバナー 東山昕也

事務局：〒943-0834
新潟県上越市西城町2丁目10-25
大島ビル203号

12
DEC

地区大会 御礼 多数のご参加に感謝申し上げます。



国際ロータリー第 2560 地区
2010-11 年度ガバナー
東山 昕也

国際ロータリー第 2560 地区大会が「城下町高田」上越市で開催され、記憶に残る意義深い大会となり得ました。地区外のガバナーをはじめ、パストガバナーからもご臨席をいただき、ご尽力いただきました。皆々さまに対して深く感謝申し上げます。

国際ロータリー直前理事、ロータリー財団管理委員 小沢一彦氏から国際ロータリー会長代理としてお越しいただき、また、ホストを務めていただいた高田ロータリー・クラブ、地区役員の皆様には準備の段階からご苦勞をおかけいたし、今大会を盛り立てていただき誠にありがとうございました。

さらに 第7分区のコ・ホストのクラブの方々より多大なご支援、ご協力をいただき無事成功裡に終えることができました。厚くお礼を申し上げます。

おかげさまで11月20日・21日の両日は、多くの感動と大きな友情の「友絆」が貴重な宝物として得ることができました。ガバナーとして1人のロータリアンとしての誇りと信頼を皆さんと分かち合い、楽しい有意義な地区大会になり感慨無量であります。大会の二日間で皆様に共感を呼び起し明日の奉仕への情熱をかきたてる事を願っております。

これからも充実したクラブとして、ロータリーを楽しむことであり「地域社会に貢献」して「地域という一つの仲間で大陸をつなぐ」という「将来へ向けてもっと大きな夢を持とう」フレーズを大切に頑張りましょう。

お詫びと訂正

地区大会プログラム 46 頁「表彰」において、「ロータリークラブ RI 会長賞」中条胎内 RC の表彰対象奉仕活動の記載に間違いがございました。

中条胎内ロータリークラブ皆様の誠意ある奉仕の業績を地区内他クラブの会員に正しくご紹介できず、中条胎内ロータリークラブ全会員の皆様並びにご関係各位に対して心よりお詫び申し上げます。

正しくは、「知的障害者施設にAEDを寄贈し、使用講習会をする。新しく開校された小学校に、ロータリー文庫として本を寄贈する。エリア内の中学生に手紙を書いてもらい本を作成する。」です。

ここに正しい奉仕活動を掲載し、お詫び致します。

小沢一彦RI会長代理



米山記念奨学セミナー
講演「母国に生きる女性の自立支援を」
アルチャナ・シュレスタ・ジョシ 様



地区大会記念講演
「アジア大交流時代の幕開けと日本」
浜田 和幸 様



委員長会議(20日、デュオ・セレッツ)



ロータリー財団地域セミナー
「ロータリー財団プログラムをもっと使おう」
片岡 暎子 様



本会議(21日 リージョンプラザ上越)

12月

ロータリーの家族月間

国際ロータリー第 2560 地区
2010-11 年度ガバナー 東山 昕也

師走に入り何かと慌ただしく感じられる今日この頃です。

今月は「家族月間」であります。1995-96 年度ハーバード、ブラウン会長は「世界平和は地域、家族から始まる」と考えを表明されました。そして 1995 年 11 月の R I 理事会において 2 月の第 2 週を「家族週間」と指定されました。2003-2004 年度ジョナサン・マジニア会長が家族の重要性を主眼にしたことを称え、12 月に「家族月間」と指定しました。これに伴って家族週間は廃止されました。

我々の奉仕活動も家族の理解が不可欠であります。人間にとって生活の基盤は家庭であり、職業であります。職業倫理に則って社会に貢献することが出来るから家族があり家庭があるのです。

私達の家族と言えば、祖父母、両親、子供、孫までが家族と思いがちですが、その他に家族としてはロータリアン、元ロータリアン、インターアクト、ローターアクト、G. S. E、財団奨学生、米山奨学生、ロータリーに係わる全ての人々が家族です。

2004～2005 年度グレン・E. エステスミニア R I 会長が家族月間を決められたことは、「奉仕の機会として知り合いを広めること」というロータリーの綱領の第一を強調するために導入されました。エステス氏はロータリーの一番いいところは親睦ですと述べられ、ロータリー家族委員会は①退会防止のための重要な役割を果たすにとどまらず、②斬新で充実したプロジェクトを促進し、③クラブの中でお互いに関心と思いやりの機運を高め、④社会的なイベントや奉仕プロジェクトに家族も参加してもらえればロータリーは会員にとって人生を豊かにし、満足のいく生き生きとしたものになると話されています。

私たちロータリアンは深い絆で結ばれ、助け合って生きています。クラブ内のロータリアンが一つの家族として素晴らしい人間関係が構築できればその家庭的な雰囲気から退会することは無いものと確信します。皆さんのクラブで是非、家族委員会、あるいは家族同志の情報交換会を作ってください、様々なロータリー関係者にご配慮いただきたいと願っています。

11月5日を含む1週間

世界インターアクト週間について

国際ロータリー第2560地区

2010 - 11年度ガバナー 東山 昕也

インターアクトのはじまり

創立以来ロータリーは、地域社会のニーズのある子供たちに手を差し伸べようと努めてきました。そして1960年、ロータリーは、青少年への奉仕に対して新たな取り組みを開始しました。青少年の秘められた可能性を見出したハロルド・T・トーマスRI会長は、青少年に奉仕を奨励する方法を見つけ出し、青少年が地域社会に対して積極的に関心を持つよう促し、リーダーとして成長する機会を青少年に提供するよう、世界中のロータリークラブに呼び掛けたのです。

その2年後、米国フロリダ州メルボルンにメルボルン高校の23名が集まり、最初のインターアクトクラブを結成しました。これによりロータリアンは、単に青少年を支援するだけでなく、提唱ロータリークラブ（後援するロータリークラブ）と協力して地元や海外で奉仕する機会を青少年に提供する事となったのです。

それ以来、世界中の多くの地域社会が、インターアクトクラブによる奉仕活動の恩恵を受けています。インターアクターは、プログラムを通じて、楽しく意義ある奉仕活動を行ないながら、リーダーとしての力を身につけ、新しい友人を作っています。一方、提唱ロータリークラブは、将来のロータリアンの育成に務めるかたわら、プロジェクトにおいて、インターアクトの力を借り、また奉仕活動の斬新なアイデアを貰っています。

RIは、11月5日を含む一週間を「世界インターアクト週間」としてロータリアンとインターアクターが一体となって、国際的な活動に参加するように呼び掛けております。因みに“Interact”の名称は“International Action”からとられたものです。IACに参加できる対象者は、高校生年代の若い人になります。この年代で国際理解と親善、そして他国の文化や人々の事を学び、そして地域社会の奉仕活動に参加する事は、彼らの将来の人間形成上から大変意義のある活動といえます。当地区のIAC活動がもっと盛んになりますよう、地区としてもまたクラブでも、前向きに取り組んで頂きたいと思っております。

【参考】2010年6月30日現在

世界インターアクトクラブ数	12,684クラブ
世界インターアクトクラブ 会員数	291,732人
日本のクラブ数	545クラブ

「米山月間」について

国際ロータリー第 2560 地区
2010-11 年度ガバナー 東山 昕也

ロータリー米山記念奨学事業とは

世界の平和を願って始まった奨学事業です。

米山奨学事業の歴史は 50 年後以上にさかのぼります。敗戦後の復興が続く 1952 年、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立されました。

米山奨学金の創立の目的は、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと世界に、“平和日本”の理解を促すことでありました。留学生が平和を求める日本人と出会い、互いに信頼し合う関係を築き「世界の懸け橋」となることを願ってつくられたのです。

民間最大の奨学事業です

(財)ロータリー米山奨学会は、勉学、研究を志して、日本に在住している外国人留学生に対し、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学財団です。

1967 年に財団法人として創立の許可を受けております。

一番の特徴は、その規模です。米山奨学生の利用数は年間 800 人。世界規模で展開しているロータリー財団国際親善学生の年間利用数と同じです。これまでに支援した奨学生数は 1 万 5130 人（2009 年 4 月現在）、その出身国は世界 116 の国と地域に及びます。

米山学友（元米山奨学生）は、韓国駐日大使やスリランカ警察署長官、韓国、台湾のガバナーに就任した人など、世界中で活躍しております。又、他の奨学金制度にない米山奨学事業の最大の特徴は、経済的な支援だけでなく、「世話クラブ、カウンセラー制度」を設けて、奨学生の精神面のケアを図っていることです。

一方、奨学生事業は日本全体の会員数と搬出奨学金の減少、会員の高齢化による奨学生カウンセラーの問題、奨学生帰国後の対応問題など、ロータリアン、そして奨学生、双方で解決していかなければならない様々な課題があることも事実です。ロータリアンの皆様の本事業に対するよき理解とご協力をお願いします。

米山記念奨学会セミナー開催にあたり

国際ロータリー第 2560 地区

2010-11 年度ガバナー 東山 昕也

皆さんこんにちは。本日はロータリー米山記念奨学セミナーにご出席いただきありがとうございます。米山奨学事業はわが国独自のもので、財団法人ロータリー米山記念事業が始まって半世紀経ちました。

米山記念奨学セミナーとは全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。将来、ロータリー運動の良き理解者となる「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命です。

ご存知のように米山奨学には奨学金による経済的支援だけでなく、ロータリーとの深い交流と精神的ケアを重視したロータリー・クラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。又、学問以外にも日本の文化や奉仕の現状を学ぶ機会を提供し、お互いに信頼を築き上げているところが大きな特徴といえます。この事業のさらなる充実と発展に向け、当第 2560 地区においてお一人 18,000 円の寄付を目標にしております。

57 クラブの皆様からクラブで特別米山奨学のプログラムを組んでいただき、ロータリー米山奨学事業の推進のために何ができるか何をしたらよいか考えてみて下さい。地区米山奨学委員会の皆さんは「最もよく奉仕するもの、最も報いられる」というモットーで努力されていますので、どのようなことでもお手伝いしていただけたと思います。一人でも多くの会員から協力が得られるよう願ってやみません。我々ロータリアンも奨学生も「人にかけて恩は水に流し、人にかけて貰った恩は石に刻む」、この心が大切であります。

米山奨学会の使命は「平和日本を世界へ」「日本と世界を結ぶ架け橋」「人材育成」であります。どうか会員の皆さま方から多大なご理解とご支援を、本日もご出席のみなさんからお伝えいただけますよう重ねてお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

ロータリーの魅力



渡辺 敏彦
パストガバナー
(新潟南RC)

私がロータリーに入会して、今年で29年になります。何故こんなにも永きに渡って在籍しているのか？ 私なりのロータリーの魅力について述べてみたいと思います。

ロータリーの魅力は、何といても「楽しさ」であろうと思います。楽しさの源泉は何かと言えば、第一にロータリーでの出会いと友情だと思います。ロータリーは、基本的には一業種一社の構成で、一種の異業種交流会のようなものです。従って、普段のビジネスライフでは会えない人と会える訳ですので、様々な異なった意見を聞くことが出来ます。また、ある程度ビジネス社会で成功されている方々と出会う訳ですので、学ぶべき点も数多く発見出来る。まさに、日本へロータリーを導いた「米

山梅吉」氏が、「ロータリーは人生の道場である」と言っておられる通りであります。

よく「忙しいので例会に出られない」、「一週間に一回などとても無理」というロータリーに対する意見があります。逆に考えると、一週間に一回会うからこそ親しくなれるし、また、深く付き合える訳です。そして、時間は作るもので、縛られるものではありません。また、自分の組織の中で No.2 を育て、まかせることで、組織の発展を計るという考えもあるかと思えます。個人事業としても一週間に一回くらい「ほっと」癒される昼食タイムがあっても良いのでは？と思いませんか？ 価値あるものであれば、何としても時間は作るでしょうし、また、価値あるものにするのは正に自分自身であると思えます。

第二の楽しさの源泉は、ロータリーの活動を通して、様々な奉仕（サービス）、即ちクラブ奉仕、国際奉仕、社会奉仕、新世代奉仕、そしてロータリーの根本的な理念である職業奉仕に携わることだと思います。もちろん仕事を通して地域社会や日本の発展に寄与することは出来ませんが、ロータリーは世界中 200 以上の国・地域に広がっておりますし、120 万人の会員を持つ巨大な組織になっています。そのロータリーを通し、世界平和と世界の健全な発展に少しでも寄与しているという実感を持つことが出来ると思えます。

そしてこの二つの楽しさを追求しながらロータリー活動に熱心に取り組むことにより、さらにロータリーが楽しく魅力あるものになるという好循環が生まれてくる。そこでアーサー・シェルドンの言葉「He profits most who serves best “最も良く奉仕（サービス）する者、最も良く報われる”」というロータリーの第二のモットーをよく理解出来るようになるのではないのでしょうか？ そして、ロータリーの魅力は、魔力に変わります。

GSE 派遣メンバー決定

ロータリー財団委員会 GSE 委員長

立川 龍雄（新潟東RC）

専門職務に携わる、若い人々の国際交流プログラム・研究グループ交換を国際ロータリー第2560 地区では3年ぶりに、国際ロータリー第1550 地区(オランダ)と行う事に決定しました。

職業訪問・文化体験・親睦の機会・異文化体験を体験する約一ヶ月間の派遣です。来年4月中旬より5月中旬の予定です。

本年より国際財団の方針で、派遣・受入を単年度でなく、2年にわたり行う事となりました。当地区では本年度は派遣となり、次年度はオランダより受入となりました。

派遣のメンバーは今後、オリエンテーションを数回行い、英会話の語学研修と語学力を身につけます。

地区大会の際にチームメンバーの紹介を行います。

【研究グループ交換】	チームリーダー	石倉 悟（高田RC）	
	メンバー	大出 恭子（十日町北RC	スポンサー）
		小出 慎一（新潟東RC	スポンサー）
		式部 朱里（新潟南RC	スポンサー）
		中野 大輔（新津中央RC	スポンサー）

以上報告いたします。よろしくお願い致します。

ガバナー公式訪問 報告

各クラブから寄せられた公式訪問報告書から一部をご紹介します、
その他のクラブにつきましては訪問日を記すこととさせていただきます。

【新津中央RC】 10月5日訪問

小雨の降るなか、ガバナー・地区幹事・AG様におかれましては、第三分区最後の公式訪問のため新津中央ロータリークラブにご訪問頂き有難うございました。

懇談会は、当クラブ風間会長、川名会長エレクト、小川幹事が出席して開始致しました。

東山ガバナーから他クラブの委員会組織の活動について具体的事例と内容について御紹介を受け、今後のクラブ運営・管理に役立つ情報を教授頂き誠に感謝しております。

クラブの組織については、単年度の弊害を無くし事業の一貫性、長期性を維持するために、規定審議会で直前会長を役員とする等の施策や長期欠席者の取り扱いの説明を頂きました。

退会防止のため、新入会員(3年未満～5年)の勉強会の義務付やクラブに合った組織をつくるのが一番大切なことであることを学びました。

クラブ奉仕においては、ロータリーの例会は楽しく、友情を深めお互いの職業を理解し悩みを分かちあえる友人を作ることが大切であること。

親睦委員会においては、他クラブで行っている月4回の例会のうち一回を夜例会にする等の紹介があり、今後検討したいと思います。また、例会の開催曜日や時間・会場等について、会員アンケートをとって、クラブの財政を把握して個人負担を軽減する等のご意見を頂き、今後のクラブ運営の参考にさせていただきます。

奉仕部門については、職業、社会、新世代を一グループ、国際奉仕、財団を一グループとして考え、新津の地域に根ざした委員会を作り、委員会メンバー最低5名をメンバーとする等の御指導を頂きました。



国際ロータリー第2560地区 東山 昕也ガバナー公式訪問 新津中央ロータリークラブ 平成22年10月5日

【訪問クラブ】(10月21日～11月20日締めで掲載)

津南RC (10月25日)	越後魚沼RC (10月26日)	見附RC (10月28日)
柏崎東RC (11月1日)	三条東RC (11月4日)	糸魚川中央RC (11月5日)
新井RC (11月10日)	妙高高原RC (11月11日)	高田東RC (11月15日)
直江津RC (11月16日)	頸北RC (11月17日)	糸魚川RC (11月18日)

新入会員紹介 (敬称略)



濱田 禎文
新潟RC
11月2日入会
キリンビール(株)新潟支社



野崎 裕
新潟東RC
10月8日入会
(株)エヌ・エヌ・メディカル

訃報会員 (敬称略)

故人のご冥福を
お祈りいたします。



高嶋 文治
新潟RC
11月17日 逝去
(株)新潟リョーシヨク

12 月 地区の予定

日	曜日	行事	会場
4	土	米山奨学会学友会総会	ANA クラウンプラザホテル新潟
11	土	第3回地区諮問委員会(東山年度)兼石本GR	デュオ・セレツソ
		渡米壮行会	
		石本GR地区運営会議	

国際ロータリー第 2560 地区 東山ガバナー事務所
〒943-0834 新潟県上越市西城町 2 丁目 10-25 大島ビル 203
TEL 025-527-3110 FAX 025-527-3118
E-mail higashiyama@rid2560niigata.jp

第2560地区 2010-11年度 10月末時点出席報告

R	C	例会数	出席率	会員数			
				7月1日現在	10月末日現在	女性	増減
第1分区(9クラブ)			85.36	327	337	27	10
1	新発田	3	100.00	76	79	0	3
2	村上	4	82.64	36	36	6	0
3	水原	4	74.90	23	23	1	0
4	中条	4	91.22	36	37	2	1
5	新発田城南	4	92.98	45	45	6	0
6	豊栄	4	80.70	21	22	3	1
7	新発田中央	4	88.95	43	46	3	3
8	中条胎内	4	79.46	28	28	3	0
9	村上岩船	4	77.38	19	21	3	2
第2分区(9クラブ)			86.65	380	401	21	21
10	新潟	4	80.73	80	83	0	3
11	新潟東	5	100.00	51	56	2	5
12	新潟南	4	88.17	65	71	0	6
13	佐渡	3	76.00	14	15	0	1
14	新潟西	4	85.83	29	30	0	1
15	佐渡南	4	98.60	43	46	6	3
16	新潟北	3	87.62	35	35	0	0
17	新潟中央	4	81.25	24	24	3	0
18	新潟万代	3	81.67	39	41	10	2
第3分区(6クラブ)			81.33	153	153	7	0
19	新津	4	81.74	25	25	0	0
20	村松	3	95.23	7	7	0	0
21	五泉	4	84.60	25	24	2	-1
22	白根	4	87.50	51	52	2	1
23	新津中央	4	91.43	35	35	2	0
24	阿賀野川ライン	4	47.50	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)			79.51	393	397	23	4
25	三条	4	79.43	53	54	0	1
26	燕	4	73.14	28	30	0	2
27	加茂	4	88.51	37	37	5	0
28	三条南	3	90.76	51	50	0	-1
29	分水	4	91.92	33	34	2	1
30	見附	4	72.00	17	17	0	0
31	吉田	5	85.26	40	41	5	1
32	三条北	4	74.42	70	70	4	0
33	巻	4	88.00	15	15	0	0
34	田上あじさい	4	50.00	8	8	2	0
35	三条東	3	81.20	41	41	5	0

R	C	例会数	出席率	会員数			
				7月1日現在	10月末日現在	女性	増減
第5分区(7クラブ)			87.75	307	309	26	2
36	長岡	4	88.50	42	42	2	0
37	柏崎	4	79.10	44	45	0	1
38	長岡東	4	91.82	68	69	6	1
39	柏崎東	3	96.30	45	45	2	0
40	栃尾	4	73.81	20	21	0	1
41	長岡西	4	86.19	42	42	4	0
42	柏崎中央	3	98.55	46	45	12	-1
第6分区(6クラブ)			86.58	148	150	9	2
43	十日町	4	95.15	30	31	0	1
44	小千谷	3	76.23	34	36	4	2
45	雪国魚沼	4	82.50	23	23	2	0
46	十日町北	4	93.47	23	23	1	0
47	津南	3	97.22	24	24	2	0
48	越後魚沼	4	74.90	14	13	0	-1
第7分区(9クラブ)			84.48	328	333	19	5
49	高田	5	100.00	74	77	1	3
50	直江津	4	91.67	43	44	2	1
51	新井	4	84.28	34	35	2	1
52	糸魚川	4	70.21	35	36	0	1
53	妙高高原	4	65.62	8	8	0	0
54	高田東	3	86.11	36	36	2	0
55	糸魚川中央	5	77.84	38	38	0	0
56	頸北	4	97.10	17	17	1	0
57	越後春日山	4	87.50	43	42	11	-1

クラブ数	57
7月1日現在会員数	2,036
10月末日現在会員数	2,080
女性会員数	132
純増減会員数	44
当月平均出席率	84.29